

## 【2025年合格目標 矢島担当の主な講座の一覧 ①～⑧】

～ここでは講師紹介の一環として私矢島が担当している主な講座を紹介しています～

### \*最新の法改正や判例に対応

ここに掲載した講座は2025年合格目標のもので、2025年度の司法試験や予備試験で出題される改正法や判例に対応済みです。ここに掲載した講座は、毎年、テキストを改訂しており、法改正に関わらない箇所も理解しやすいように改良しています。

### \*合格に必要な能力を身に付けるための4つの講座（概要）

どの講座を受講すれば良いかを迷っている方は、次の4つの講座を受講すれば合格に必要な知識や法的思考能力を修得できます。①と②が核となる講座です。③と④は短時間で実施する試験直前期の直前対策講座です。全て通学クラス・通信クラスが選べます。

①②③④の講座の通学クラスは後掲のWeb上での欠席フォローがあります。

#### ① 矢島の速修インプット講座（2024年7月23日～11月23日に新規収録）

論文試験と短答試験に共通する重要知識を本質的に理解して修得するための講座です。直近の試験も含めた最近の試験傾向に対応できるように、毎年、講義の内容を工夫しています。基本知識というのは、ただ知っているというのでは本試験に太刀打ちできません。直近の試験の質を踏まえて、今度の試験に十分対応できる質の講義を実施します。

#### ② 矢島の論文完成講座（2024年12月3日～翌年3月25日に新規収録）

試験審査委員が受験生に求める答案の書き方を徹底的に理解して修得するための講座です。この講座では、これから答案の書き方を学ぶ受験生だけでなく、答案の書き方をある程度知っている受験生が本試験で初見の問題に対応できるだけの法的思考能力を修得できます。司法試験や予備試験の過去問を題材にします。

#### ③ 矢島のスピードチェック講座（2025年3月29日～4月17日に新規収録）

直前対策用の講座です。前年度までの司法試験や予備試験の出題傾向を踏まえて、今年度の直前期にここだけはおさえておきたいという重要度の高い基本知識を短時間で復習して、試験当日までに重要知識を記憶に残せるようにします。

#### ④ 矢島の最新過去問&ヤマ当て講座（2025年4月24日～6月5日に新規収録）

直前対策用の講座です。直近の司法試験の論文過去問を題材にして、現在の試験審査委員が受験生に求める法的思考能力の質を理解します。また、ヤマ当てという形で、論文試験の題材になりそうな論点を深く考察できる講義をします。

・以下は各講座の詳細（より詳細な情報はLECのウェブページやパンフレットに掲載）

① **矢島の速修インプット講座**（司法試験・予備試験の対策）

[必修7科目合計216時間・1回の講義は4時間・全54回] 注：前年度は188時間

[憲法8回、民法12回、刑法10回、会社法、民訴法、刑訴法、行政法は各6回]

本講座は、必修7科目（憲法、民法、刑法、商法の分野のうち会社法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法）について、**最近の試験傾向**を十分に踏まえて**合格に必要な基本知識や重要判例**を体系的に確実に修得して、**どのような問題にも対応できるだけの正確な理解に基づく真の学力**を身につけるための講座です。講義の際は、試験対策上、**理解しておけば足りるところと、理解した上で記憶までしておかなければならないところを明確に指摘**するので、講義を受講し終えたときに、**何をどの程度まで復習すべきかが明確に把握**できます。これからインプット学習を始める受験生はもちろん、これまでどこかでインプット学習をした経験があるけれどインプットに不安を抱えている受験生でも、この講座の**講義を聴いて復習すれば確実に前に進む**ことができます。

★コメント★ ～テキストと講義について

**論文試験と短答試験の情報**を一元化して受験対策を効率よく行えるようにするために、本講座で使用するテキストには、**論文試験の合格に必要な情報**に加えて、論文試験と比べて若干細かい知識が問われることがある**短答試験**においても**合格点を十分超える点数を獲得できる程度の情報**を掲載しています。テキストの分量が多いと安心感があって喜ぶ受験生がいるのに対して、分量が多いと学習しきれないということで嫌がる受験生もいるかもしれません。受験生の中にもいろいろな方がいることを考慮して、テキストに掲載した情報については、情報ごとに重要度を表す記号を付しています。**講義中**は、テキストに掲載した情報のうち論文試験と短答試験に共通する**重要度が高い情報に絞り込んで、将来の試験に対応**できるだけの**深い解説**をしています。テキストの分量が多くて心配だという受験生でも、**最低限、講義中に解説した箇所だけをしっかりと復習**することで、**最近の試験**の傾向を踏まえた**合格に必要な学力**を習得することができるので、テキストの分量が多いということは心配する必要はありません。

★コメント★ ～通学クラスのWebフォロー制度（欠席フォロー制度）

**通学クラスに参加したいけれど、仕事や家庭の事情で毎回時間どおりに参加するのが難しい**という方は、**通学クラスに申し込み**をしておいて、**参加できる回だけ教室**で講義を聴くことをお勧めしています。**遅刻、早退**しても何の問題はありません。**矢島の速修インプット講座の通学クラス**の受講生に対しては、**講義実施の翌々日からWeb**で配信するので、**教室で受講できなかった講義を自宅等で視聴**することができます。

## ② 矢島の論文完成講座（司法試験・予備試験の対策）

〔必修7科目合計120時間・1回の講義は4時間・全30回〕

〔民法、刑法は各5回、憲法、商法、民訴法、刑訴法、行政法は各4回〕

インプットした基本知識を、論文試験の事例処理を通じて**答案の形**にするのに必要な**法的思考能力**を修得するための講座です。**矢島作成の解答例**を使用します。講義では、**試験考査委員**に高い評価を得られる**答案の作成方法**を徹底的に指導します。取り扱う問題は、司法試験の過去問がメインとなりますが、法的思考能力を磨くのに有益な予備試験の過去問や、必要に応じて**オリジナル問題**を取り扱うことがあります。

本講座で**取り扱う問題**を**選択**する際は、**今度の試験対策**として**有益かどうか**ということを毎年考慮しています。

### ★コメント★

解答例を丸暗記する学習をしても、試験本番で初めて見る問題に対応できません。講義中は、初見の問題にも対応できるだけの事案分析能力、法律構成能力、結論の妥当性を意識した事案検討能力（問題文の事案の特徴を踏まえて当てはめをする能力）を習得できるだけの解説をしていきます。今度の論文試験で何としてでも合格点を獲得したいという本気の受験生にぴったりの講座です。

### ★コメント★ ～通学クラスのWebフォロー制度（欠席フォロー制度）

前掲の矢島の速修インプット講座と同様、**矢島の論文完成講座の通学クラス**の受講生はWebフォロー制度（**欠席フォロー制度**）を利用することができます。

なお、この制度による講義の配信は、パンフレット記載の通信クラスの配信開始日までなのですが、その日以降は、通学クラスの受講生でも、通信クラスの受講生と同じように、引き続き、Web上で講義を視聴することができます。講義中に講義を自分で録音する必要はありません。

### ③ 【直前対策講座】矢島のスピードチェック講座（司法試験・予備試験の対策）

[必修7科目合計72時間・1回の講義の時間は科目ごとに異なる]

[民法16h、刑法16h、憲法・会社法・民訴法・刑訴法・行政法は各8h]

**今期の司法試験や予備試験で出題されそうな重要事項**を短時間で効率よく**体系的に復習**するための**直前対策講座**です。本講座の受講にあたっては事前に矢島の速修インプット講座で合格に必要な知識を体系的に学習しておくのが理想なのですが、とりあえず今期の試験を何とかしたいという受験生が今期の試験で出題されそうな重要事項を体系的に確認するのに役立つ講座となっています。今期の試験直前期に重要事項の最終チェックをしたいという受験生に最適の講座です。なお、本講座は、後記④のヤマ当て講座と異なりピンポイントでヤマを貼って深い理解するための講座ではなく、今期出題可能性のある事項を幅広く確認して知識の穴を埋めることを目的としています。

#### ★コメント★

試験本番まで比較的余裕がある時期に**矢島の速修インプット講座**で各科目の重要事項の深い理解をしておいて、試験直前期の**矢島のスピードチェック講座**で**今期の試験に出題されそうな重要事項**を短時間で記憶喚起したり、以前よりも理解を深めたりして、試験本番に臨むというのが**理想的な学習計画**となります。

### ④ 【直前対策講座】矢島の最新過去問&ヤマ当て講座

[必修7科目×4時間＝合計28時間・全7回]

司法試験の最新の論文過去問の分析と直近の論文試験のヤマ当てをするための講座です。最新の論文過去問は、最近の試験考査委員が受験生に対してどのような答案を求めているかを理解するのに役立つ最良の道具となります。最新の過去問と**矢島作成の解答例**を用いて、本番の試験で求められている法的思考能力の「質」をしっかりと理解して、本試験で高評価を得られる答案がどのようなものかをイメージできるようにしっかりと講義をします。各科目の講義の後半では、今回実施予定の司法試験の論文試験で出題されそうな論点や重要判例等のヤマ当て講義を実施します。

本講座は司法試験を題材としていますが、試験考査委員が求める答案がどのようなものかを理解して、司法試験で出題される論点の題材にして法的思考能力を磨くことは、予備試験の受験にも役立つため、予備試験の受験生にもお勧めの講座です。また、ヤマ当て講座の講義の質が高いので、ヤマに関係なく学力向上に役立ちます。

ヤマ当てに関して、司法試験と予備試験で近年出題されていない重要論点は近いうちに司法試験か予備試験あるいはその両方で出題される期待が高まることなどの理由で**司法試験のヤマ当てには、司法試験はもちろん予備試験の出題傾向を分析することも含まれる**ため、本講座は予備試験の受験生にも役立ちます。

⑤ 予備試験の短答試験対策のための講座「**矢島の短答対策シリーズ**」の一覧

[以下の全科目を新規収録して2025年2月3日に配信開始] [通信クラスのみ]  
本講座は、矢島の速修インプット講座で取り扱わない分野を学習することを目的としています。本講座の「**民事訴訟法**」と「**刑事訴訟法**」では、予備試験の短答試験で出題される知識の講義をします。「**商法総則、商行為、手形法**」では、予備試験の短答試験と論文試験で出題される知識の講義をします。なお、短答試験と論文試験の両方で出題されることが多い事項については、「矢島の速修インプット講座」で取り扱っています。

- ・ **商法総則・商行為・手形法** [6時間] (予備試験の対策・論文に必要な知識も修得)
- ・ **民事訴訟法** [6時間] (予備試験の対策)
- ・ **刑事訴訟法** [6時間] (予備試験の対策)

注：矢島の短答対策シリーズとして以前実施していた「憲法統治」、「家族法」、「会社法」、「行政法」については、テキストの情報を整理して「矢島の速修インプット講座」のテキストに掲載しています。

⑥ 司法試験・予備試験の**選択科目**の対策 ～**労働法**のインプット&論文対策

(1) **矢島の労働法** [選択科目総整理講座] [5時間×8回=合計40時間]

(毎年新規収録して2024年8月5日に配信開始) [通信クラスのみ]

**まず**、矢島の体系整理テキスト労働法(毎年改訂)を使用して、合格に必要な基本知識や重要判例をインプットするための講義を**1コマ5時間で5コマ(25時間)**実施します。**次に**、司法試験と予備試験の論文過去問と矢島作成の解答例を題材に労働法の合格答案の書き方を修得するための講座を**1コマ5時間で3コマ(15時間)**実施します(**合計40時間**)。この講座は、イメージでいうと、矢島の速修インプット講座と矢島の論文完成講座がセットになったようなものです。

(2) **【直前対策講座】矢島の直前対策スピードチェック労働法** [合計8時間]

～**今期の試験直前期に特に深い理解しておきたい事項の最終チェック**

(2025年6月12日 13～22時(中間に1時間休憩) 通学は水道橋・通信あり)

(パンフレットに未掲載、詳細は直前にWEBでのみ告知)

司法試験と予備試験の最近の出題傾向から、司法試験と予備試験で今期出題されそうな労働法の重要論点を解説するという**今期の試験のための直前対策講座**です。本講座の受講に当たっては、事前に「矢島の労働法」などで労働法の知識を体系的にインプットしておくのが理想なのですが、これまで労働法の学習をあまりしておらず、今期の試験までに体系的な学習をするのは間に合わないけれど、せめて今期の試験に出題されそうな重要論点だけでもおさえておきたいという受験生にも役立つ講座です。

⑦ 【直前対策講座】矢島の法律実務基礎科目〔民事・刑事〕〔24時間〕

(予備試験の対策) (新規収録して2025年7月28日に配信開始) [通信クラスのみ]  
[4時間×6回=合計24時間]

本講座は予備試験の法律実務基礎科目の近年の試験傾向を十分に考慮した上で、合格に必要な基本重要知識のインプットや、論文答案の書き方を修得することを目的とした直前対策用の講座です。本講座を利用することで、短答式試験が終了した後も、短時間で法律実務基礎科目の試験対策をすることができます。なお、講義の内容は司法研修所が採用する見解に準拠しているため、司法修習の事前準備や、司法修習の修了試験の対策としても有益です。講義での主な取扱い事項は次のとおりです。(1)は過去問編として実施し、(2)、(3)、(4)は知識編として実施します。

- (1) 民事・刑事ともに合格に必要な能力を修得するのに最適な論文過去問を題材に将来の試験に役立つように思考方法を矢島作成の解答例で徹底解説
- (2) 民事のインプット講義として、民事事実認定の基本的なルール、要件事実、民事保全法、民事執行法
- (3) 刑事のインプット講義として、刑事事実認定の基本的なルール、刑事実務に関する試験で問われやすい基本知識(勾留、接見禁止、勾留執行停止、保釈、準抗告、公判前整理手続、証人尋問や書証等の証拠調べ手続、その他)
- (4) 民事・刑事ともに論文試験、口述試験で出題頻度が高い弁護士倫理

★コメント★ 矢島の法律実務基礎科目を効率よく受講するための事前準備

本講座は予備試験の論文試験の【直前対策講座】という位置づけで、論文試験の直前に開講するものですが、本講座を受講するまでに矢島の速修インプット講座、矢島の論文完成講座で民法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法の基本知識を修得し、さらに余裕があれば、矢島の短答対策シリーズで、民事訴訟法、刑事訴訟法の短答知識を修得しておけば、論文試験の直前期に短期間で法律実務基礎科目において合格点を獲得できるだけの能力を修得することができます。

例えば、法律実務基礎科目の民事の分野で出題される要件事実に関する問題についていえば、矢島の速修インプット講座の「民法」の科目で民法の実体法の基本知識を修得し、「民事訴訟法」の科目で主要事実の客観的証明責任を振り分ける基本的なルールを修得していれば、短期間で要件事実の摘示ができるようになります。

一番よくないと思われるのは、民法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法の基本事項を十分に修得しないまま、法律実務基礎科目の学習を開始することです。法律実務基礎科目において試験本番で初見の問題に対応する真の応用力を修得するには、民法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法の基本事項の学習を事前にしっかりと行っておくことが必須になります。

## ⑧ 矢島の勉強会（～矢島講師と一緒に答案を手書きする集い）

〔1回8時間×7回（必修7科目各1回）＝合計56時間〕

〔通学クラスのみ・水道橋本校〕

本講座は、主に司法試験の論文過去問の一部を題材にして、一定の時間内に合格可能な実践的な手書き答案を作成するコツを学ぶための講座です。必要に応じて予備試験の論文過去問の一部又はオリジナル問題を併用することがあります。毎回2通の答案を作成します。本講座では、受講生は講師と一緒に教室内で答案を手書きした上で、講師の答案構成用紙や答案用紙を資料の1つとして、答案構成の仕方を含めて、実践的な答案を作成するのに必要な思考方法を学ぶことができます。矢島の論文完成講座などの論文対策用の講座を受講して頭の中で答案の作成方法を分かったという段階から、実際に一定の時間内で合格可能な答案を手書きできる段階にステップアップしたいという受講生にお勧めの講座です。

答案作成とは別に、重要論点を含む基本知識のキーワードを穴埋め形式にした講師作成のオリジナル教材を使用して、基本知識を記憶する際のポイントを学ぶことができます。基本知識をインプットするための講座を受講したけれど、記憶すべきことを記憶することができないという方は本講座を利用して試験対策上必要な知識を記憶するきっかけをつくってください。

なお、そのときの受講生の学力の状況によっては、穴埋め教材以外にもその都度用意する教材を用いて合格に必要な学習をすることがあります。

本講座では、講義時間中、答案を手書きしている時間を除いて、受講生は自由に質問をすることができます。本講座は収録をせずに教室内だけで実施するものなので、質問したいことがあれば講義中に遠慮なく質問をしてください。

注：講義は、水道橋本校において、**2025年5月10日（土）から同年6月21日（土）までの毎週土曜日**に実施します。時間帯は**12時から20時**までの8時間です。

注：2026年（令和8年）度以降のCBT試験が初受験となる方は個人でノートパソコン等を持ち込んで答案作成をしてもかまいません。教室内に受講生用の電源がないので、ノートパソコンのバッテリーは各自準備してください。

**\*再受講割引のお知らせ ～合格するまでのペースメーカーとして活用**

前掲の講座は**再受講割引**で申し込むことができます。ほぼ毎年のように法改正が行われ、新たな重要判例が登場する今日において、法律家として仕事をするには、司法試験に合格した後も法律の学習を継続していく必要があります。法律の世界で活動していく限り、法律の学習をやりすぎて損をすることはありません。予備試験や司法試験に合格するまでのペースメーカーとして、また、司法試験合格後の司法修習の準備や司法修習の修了試験の対策のために、さらには、実務家に必要な法知識面での素養を維持・向上するために再受講割引制度を活用してください。

①②の講座のセット（矢島の速修パック）

①②③④の講座のセット（矢島のスタンダードコース） ←このセットが**標準**です。

①②③④⑤及び⑦の講座のセット（矢島の予備試験パック） ←予備試験合格に最善です。

上記の各セットについては、割引の条件に適合すれば、**一般価格から40%割引いた割引価格**で受講することができます。パンフレット又はLECのウェブページを参照するか、LECの受付に直接お問い合わせください。

**割引の条件：**年度を問わず、過去に「矢島の速修インプット講座」、又は、「矢島の論文完成講座」のどちらか1つを7科目セットで受講していること。前記各講座は、その前身の講座である「重要事項完成講座」の「知識編」又は「論文過去問徹底分析編」でも代替できます。また、単価受講で結果的に7科目受講した場合でも割引を受けられます。